

コミュニティスクール(ハウス)は、地域の皆さんが、身近な生涯学習や地域活動の場として利用できる学校施設活用型の施設です。日吉台中学校の敷地内にある日吉台中学校コミュニティスクールもそのひとつです。

コロナ禍においては、団体活動が休止・自粛を余儀なくされました。平成30年度(コロナ禍前)での利用者は研修室・和室を合わせ約9千人。令和2年度は約2千人と大幅に減少しましたが、令和3年度からは、感染予防をしながら、声を出さなくても活動できる水彩画や鎌倉彫、健康を意識したストレッチ体操や太極拳、社交ダンスなど、少しずつ再開し始めています。今回は、2年ぶりに再開した陶芸教室を取材しました。



©港北区ミズキー



日吉台中学校コミュニティスクール入口

住所:横浜市港北区日吉本町4-9-1
 電話:045-565-2840 FAX:045-565-2840
 開館時間:<日・月・水・木・土曜日> 9時~21時
 休館日:毎週火・金曜日
 年末年始(12月29日~1月3日)
 交通:市営地下鉄グリーンライン「日吉本町駅」
 下車 徒歩7分
 バス停:「日吉台中学校」下車

※貸室の利用にあたっては、利用登録が必要です。
 (利用料は無料)詳細については、施設にお問合せください。

公式ホームページはこちら

<https://www.kouhoku-ksk.or.jp/hiyoshidai/>



無心になれる陶芸制作

14~5年前から継続している(コロナ禍2年間休止)陶芸教室は、とても人気が高く、美術室はほぼ満員。講師とスタッフ7名が常に声をかけてくれるので、安心して制作に集中できます。土をこねたり、形を整えたりしていると、あっという間に時間が流れていきます。4月~7月にかけて皿など4~5点を作り、メンバー同士で作品を鑑賞し、文化祭で展示するそうです。(今年の展示は、2月に大倉山記念館で開催済)



陶芸教室の様子

珍しい焼窯(やきがま)のある中学校

日吉台中学校西門を入った左側、一見倉庫に見える建物が焼窯庫です。陶芸に欠かせない焼窯は、焼窯庫の中に重厚な扉を携え鎮座していました。



焼窯庫



作品の形状によっては、一度に100個も焼くことができるそうです。一度火入れをすると、火が消えるまで一週間近くかかるとか。

日吉台中学校の美術の先生が、陶芸を専攻されていたご縁で、中学校の敷地内に焼窯庫が設置され、美術の授業はもちろん、地域の方々の作品作りにも活用されています。



文化祭展示の様子